

2023.6.25

こんにちは わ ーど

No.86

半田国際交流協会だより

令和5年度 半田国際交流協会総会開催

5月14日(日)半田市福祉文化会館第3会議室にて、令和5年度総会を無事終えることができました。議案はすべて承認されましたので、ご報告いたします。記念講演も合わせ、多くの会員の皆さまにご出席いただきましたことをお礼申し上げます。

いま求められる 半田国際交流協会の役割とは

半田国際交流協会
会長 中村 宗雄



本年度総会におきまして、会長に選任されました中村宗雄です。会長として16年という長きにわたり、半田市の姉妹都市との交流や多文化共生の推進にご尽力をいただきました松石奉之会長が退任されました。松石前会長が半田国際交流協会に費やした多大なる時間と熱意、そしてその実績に深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、令和5年5月1日時点では、半田市内には4,589人の外国籍の方が住んでおられ、その数は過去最高の人数となりました。この増加傾向は、少子化、労働者不足といった根の深い日本の社会問題の影響もあり、今後も加速すると予想されております。

1981年に設立された当協会は、その役割として、発足当初の「姉妹都市との交流」から「国際理解の推進」そして「在留外国人との交流」、「多文化共生の推進」と変化を遂げてきました。

また、この約3年間のコロナ禍により、更に社会は大きく変化と進化を余儀なくされました。

こうした大きく変化する社会環境のなかで、当協会はその役割として、「日本人と外国人」という区別ではなく、同じ半田市民としてお互いに認め尊重し合う、共に暮らしやすい環境作りのため、半田市、半田商工会議所との連携を更に深めながら、その実現を目指していきたいと考えております。

最後になりますが、本年度も半田国際交流協会への一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

半田市の将来を見据えて

半田市長
久世 孝宏



新型コロナウイルスという未曾有の災禍が終息の兆しを見せ、コロナ前の生活を徐々に取り戻しつつあります。今秋には、はんだ山車まつりの開催を控え、6年ぶりに31輦の山車が勢ぞろいする姿を多くの方に見ていただけたらと思うと、今から心が躍り、楽しみでなりません。

そのような中、本市では外国籍市民人口が過去最多数を更新し、これまで以上に多文化共生社会を推進していく必要があります。言語や文化の違いを超えて相互に理解を深め、だれもが活躍できるまちにすることが、きわめて重要な課題であると認識しております。

国際交流においては、コロナ禍で停滞していた姉妹友好都市交流も活発に動き始め、アメリカ・ミッドランド市との高校生相互派遣の再開や、友好都市提携30周年となる中国・徐州市への訪問など、多くの事業を予定しています。引き続き、市民への国際理解の促進を図ってまいります。

また、長きにわたり半田国際交流協会を支えてこられた松石奉之氏が会長の職を退任されることとなりました。これまで本市の多文化共生事業、国際交流事業に多大なるご貢献をいただきましたことに感謝申し上げます。

今後は、中村宗雄新会長とともに、本市の取り巻く環境の変化に的確に対応し、国籍を問わずだれもが幸せに暮らすことができるまちを目指してまいります。

引き続き、本市の多文化共生事業、国際交流事業の推進にご協力をお願い申し上げます。

令和5年度 役員紹介(敬称略)

名誉会長	久世 孝宏(半田市長)
顧問	松石 奉之
会長	中村 宗雄
副会長	榊原 肇
専務理事	高木 利定

理事

榊原	明美(半田ロータリークラブ)
松林	信吾(半田南ロータリークラブ)
田中	純一(半田ライオンズクラブ)
加藤	大典((公社)半田青年会議所)
石川	大志(半田商工会議所青年部)
平岡	和廣(半田ジュニアプラスバンド)
間瀬	政和(半田市高等学校校長会)

村上	信彦(半田市小中学校校長会)
松井	良親(半田市スポーツ協会)
足立	岳人(ダウ・ケミカル日本株)
榊原	正治(半田ブータン青少年交流協会)
山田	幸(半田市役所)

監事

山本	卓美(半田市副市長)
小柳	厚(半田商工会議所)

松石前会長 協会での20年

会長退任のご挨拶

顧問 松石 奉之

半田国際交流協会の前身は、1980年に設立された半田市姉妹都市市民委員会として、半田市職員がその事務局を担うことで始まりました。その後、2003年に半田国際交流協会は民間主体の組織となり、市民向けの国際理解イベントや姉妹友好都市との草の根交流を心がけながら、増えてきていた在住外国人のための日本語教室開設等も行っていました。



また、2005年「愛・地球博」で半田市のフレンドシップ相手国となったグアテマラ共和国とブータン王国との交流を始め、姉妹友好都市ミッドランド・ポートマッコリー・徐州市をはじめとする様々な国々との交流を進めてまいりました。

私自身は、2003年に専務理事に選任され、2007年より会長を務めさせていただき、本年の総会で約20年間の務めを終えさせていただくこととなりました。協会運営や多文化共生社会の実現に向けた諸課題への対応に、事務局やボランティアの皆さんのご協力を得て取り組ませていただきました。また諸外国の皆様との交流では、数え切れないほどの楽しい経験をさせていただきました。

半田国際交流協会は「市民の国際理解・国際交流の推進」を主目的として設立されましたが、グローバル化が進んだ現在、協会の活動は、在住外国人の方々との多文化共生の推進や、世界平和に寄与する海外の方々との草の根交流に大きく舵をきっています。

次世代を担う方々が、国際社会の中で更なる相互理解と平和の実現に取り組む活動を継続していただくことを心から願っています。

長年、この活動で私を支えてくださった多くの皆様に心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。



2005年「愛・地球博」で、パピリオン建設のため来日していたブータンの方々に頼られ、開催中43日間会場へ



万博のあと「半田ブータン青少年交流協会」を設立し、交流を継続。ブータンへの渡航は通算8回

半田国際交流協会記念公演「世界で唯一! アメリカ人と日本人のお笑いコンビ バックン・マックンがやってきた。」



さまざまなゲストを招いて行った講演会や演奏会では、司会を担当



ミッドランド交換生の受け入れでは、いつも京都へ同行



ポートマッコリーのコアラオーケストラと半田ジュニアプラスバンドの相互交流は計12回。コアラオーケストラ来半時は、約30~40人の受け入れをアレンジ



提携15周年(2008年)に中国徐州市へ公式訪問



ミッドランド交換生と9家庭のホストファミリーを、毎回BBQに招待

半田
市立
図書館に
あります!



ポートマッコリー姉妹都市委員会から、提携30周年(2020年)記念のファイバー製コアラを半田市へ寄贈したいと申し出を受け、やり取りを重ねて、無事に受け取り



「はんだ山車まつり」にて、姉妹都市のゲストといっしょに

さまざまな活動を会長として引っ張っていただき、ありがとうございました。今後も、顧問として協会をよろしく願います。



令和5年度 半田国際交流協会総会記念講演 トルコに思いをはせて

5月14日(日)、半田国際交流協会総会記念講演「トルコに思いをはせて」を開催しました。大島恵李香さんとオミュル・チェティンさんを講師として招き、トルコの生活や文化、また今回の地震についてお話を伺いました。47名の方にご来場いただき、会場に設置した募金箱には23,473円集まりました。募金は、在名古屋トルコ共和国総領事館の義援金受付口座に寄付させていただきました。



▲トルコの文化を広める活動をしている大島さん(左)とトルコ人のオミュルさん(右)



トルコと日本の関係



トルコは昔から日本好きな人が多いです。きっかけは1890年の「エルトゥールル号遭難事件」です。トルコから日本に来た船「エルトゥールル号」が、その帰り道台風にあい、和歌山県沖で沈没し、近くの村人が懸命に救助した出来事をトルコ人は忘れていません。約100年後の1985年イラン・イラク戦争の際には、トルコが危険を顧みず飛行機を出し、多くの日本人を救出しました。また2011年トルコ東部地震の時は、日本から多くのボランティアが駆けつけましたが、日本人1名が支援活動中に亡くなりました。10年後の2021年、亡くなったボランティアの名前を冠した「ミヤザキ森林公園」が被災地に作られました。



2023年2月6日発生 トルコ・シリア大地震



今回の地震の大きさは、震度5弱～6弱、死者5万人以上、避難民100万人以上、被災家屋16万棟といわれています。多くの方が住む地域の真下のプレートで発生したこと、建築材料の質の悪さ、建物のメンテナンス不足、地震についての教育・訓練不足という理由が重なり被害が拡大しました。日本では子どものころから地震の避難訓練を行います、これは日本だけの文化です。



1人あたりの紅茶消費量世界一



トルコ人はチャイ(紅茶)が大好きで、どこでもチャイを飲みます。入れ方は、トルコの2段重ねのティーポットを使って、上に茶葉を、下に水を入れて沸かし、お湯が沸いたら上の段に注いで弱火で10分～20分煮出します。上の段の濃い紅茶をチャイ用グラスに注ぎ、お湯を足して好みの濃さで飲みます。甘党が多く、砂糖をたくさん入れて飲む人も多いです。



▲トルコの茶器

今後の主な行事予定

- ◆広報紙作成 会報「こんにちわーど」年4回発行
- ◆「にちようびのほんごきょうしつ」
毎週日曜日 10:00～11:50
- ◆【半田市】ミッドランド市へ高校生派遣
7月24日(月)～8月14日(月)

- ◆「第9回はんだ山車まつり」
姉妹友好都市公式訪問団受け入れ
10月26日(木)～30日(月)
- ◆こんにちわーどフェスティバル
11月12日(日)
- ◆日本語教室 外国人書き初め体験
2024年1月14日(日)

法人・団体会員 (順不同)

【法人会員】(33社)

阿久比運輸(株)
(有)イシケン
尾張製粉(株)
(株)榊原
(株)システムサポート
(資)松華堂菓子舗
(有)末永工務店
ダウ・ケミカル日本(株)
武豊屋(株)
知多信用金庫
中部電力パワーグリッド(株)半田営業所
ツカサ工業(株)
土平鑄工(株)

デイサービス未来 半田
(株)デザインセンターオフリヤ
東洋織布(株)
中埜総合印刷(株)
日道工業(株)
日本ガイシ(株)知多事業所
半田港運(株)
半田信用金庫
(有)半田精糧
ビジネスホテル アズイン半田インター
NPOヒューマンコミュニティ
(株)Project K
文化堂写真館
(株)マツイシ楽器店

松林工業(株)
丸佐織物(株)
ミツカングループ
(株)三菱UFJ銀行半田支店
山田自動車工業(株)
山田紡績(株)

【団体会員】(17団体)

半田商工会議所
半田ロータリークラブ
半田南ロータリークラブ
半田ライオンズクラブ
(公社)半田青年会議所
半田市商店街連合会

半田市小中学校校長会
半田市PTA連絡協議会
半田市スポーツ協会
(一社)半田市医師会
知多薬剤師会
愛知県立半田高等学校
愛知県立半田東高等学校
半田ジュニアプラスバンド
日本福祉大学付属高等学校
半田ブータン青少年交流協会
国際ソロプチミスト半田

【個人会員】

218名(2023年6月1日現在)



日本語教室

半田さんぽ

こんにちはわーど

No.86

4月16日(日)日本語教室のあと、24名の学習生の皆さんと12名の先生、計36名で「半田さんぽ」に行きました。春の半田の景色を紹介しつつ、おしゃべりしながらみんなで楽しく歩きました。天気もよく、最高のおさんぽ日和でした。

雁宿ホール出発



小栗家住宅



▲モッコウバラの酵母からできたお酒を試飲させていただきました

半田運河



▲54匹の鯉のぼりが元気よく泳いでいました

雁宿ホール解散

山之女神社



▲下半田地区のお祭り

国際交流サロン

いろいろな国について知り、いろいろな国の人と話しましょう

テーマハンガリー



3月26日(日)、国際交流サロンを行いました。今回のテーマはハンガリー。歴史や文化を学んだあと、ダンスやお話し会をして交流を楽しみました。



▲ハンガリー人のチョルダージュ・ジュラさんにいろいろなお話をうかがいました



▲ジュラさんお手製のスコーン「ポガーチャ」とエルダーフラワーのハーブティーをいただきました



マジャル人(ハンガリー人)は騎馬民族が起源でアジアにルーツがあるかも?



パプリカを食材や香辛料として多用しており、120種類ほどのパプリカを生産する「パプリカ大国」!



▲パプリカパウダー入りのソーセージや煮込みスープ

半田国際交流協会にご入会ください!

会員募集

年会費	個人会員	2,000円
	団体会員	10,000円
	法人会員(1口 5,000円)	
	・従業員数 1名~29名	1口以上
	・従業員数 30名~49名	2口以上
	・従業員数 50名~	4口以上

申込先: 半田国際交流協会(雁宿ホール内1階)
TEL: 0569-26-1929 FAX: 0569-26-1992
E-mail: hia@poplar.ocn.ne.jp
HP: http://www.handakokusai.aichi.jp



▲輪になって回りながら、あてられた人がまんなかでダンスをします

